

自主防災組織への支援

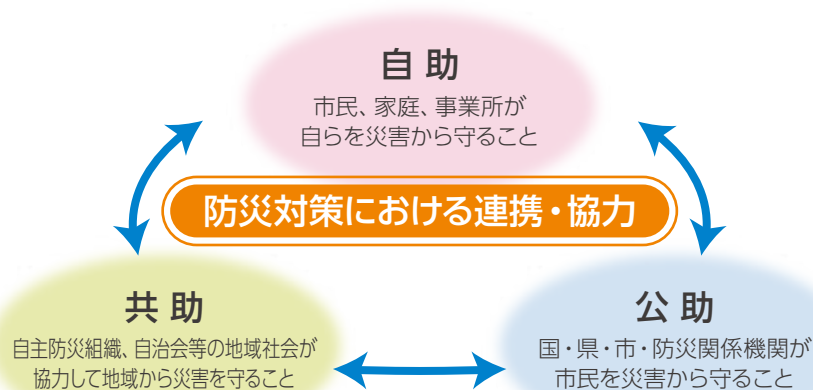
地域で効果的に防災活動を行うために、自主防災組織の結成を推進しています。自主防災組織に対しては、結成時のご相談、避難誘導や救護などの防災活動に必要な資機材の購入資金の助成、防災訓練などへの職員の派遣、防災訓練などの活動に助成金の交付を行っています。



お問い合わせ先 市民生活課防災係 電話 04-7123-1083

「行政・防災関連機関」の三者がそれぞれの役割に応じて分担し、協力して行う「自助・共助・公助」の連携が不可欠です。

自主防災組織では、大規模な災害が発生した場合に備え、組織内の役割分担や防災訓練を行い、地域の防災力を強化しています。自主防災組



織で行う訓練や講習会に積極的に参加して災害に備えましょう。現在、活動している自主防災組織は、163組織、約2万9千世帯ありますが、市内全体の割合では、まだ、45パーセントの組織率です。防災力の高い安全な地域を目指し、自主防災組織の結成をお願いします。

Interview

七光台自治会では、阪神・淡路大震災を契機に平成8年に自主防災組織を結成しました。東日本大震災の際には、自主防災組織の防災役員が中心となって自宅訪問による安否確認などを行いました。毎年、積極的に防災訓練を行ってきましたが、東日本大震災を契機に改めて防災への意識が高まり、自治会での備蓄や装備の充実に取り組んでいます。

年1回行う防災訓練では、地域消防団、市消防署の協力のもと、実践的な訓練・簡易トイレ組立訓練など、より具体的な取り組みを行っています。また日ごろから、地域の皆さんや民生委員の方たちと話し合い、高齢者の方がどの辺りに住んでいるのかを把握することで、被害の拡大を防ぎ、優先的に救助できるよう情報収集を心がけています。

皆さんには、『助け合いの精神』を持ち、より防災意識をもってもらいたいと願っています。

七光台第4自治会自主防災会
代表 執行 文治さん



Interview

利根川と江戸川を間近に望む桐ヶ作は、昔から水害への意識が高く、水防の観点から発展して自主防災組織結成の運びとなった経緯があります。現在、当自治会では、自治会の代表が、自主防災組織の代表を兼任する形で、別々の組織ではなく同一の組織、意識で関わることを心がけています。

平成24年の9月に突発的に起きた竜巻では、市の職員の方々がフットワーク軽く情報収集や復旧作業にあたってくれましたが、実際に市全域で同様の災害があった場合、市や県での対応だけでは、不十分になるだろうと実感しました。今後の防災訓練でも新たな取り組みに挑戦することで住民の方々への参加を呼びかけて防災意識の向上を図りたいと思っています。

(写真右)
桐ヶ作1自治会自主防災会
代表 谷田貝 多吉さん

(写真左)
桐ヶ作2自治会自主防災会
代表 戸塚 哲雄さん

